

11 月 3 日 : VN 指数は一進一退の動きで上昇 (VN-Index +0.12%)

- VN 指数は昨日の好調だった流れを引き継ぎ、前日よりも高値で取引を開始後、ETF 再編の影響により一进一退の動きで推移した。
- 午前中は徐々に売り圧力が強まっていったことにより、前場の引けにかけては下落基調が続いた。
- 午後に入ると流れは一変し、再び指数は上昇して好調に推移したが、大引け直前に大きな売り注文が出たことにより、最終的には前日に比べて小幅高で終了した。
- セクター別では小売セクターが最も買われ、情報セクターの下落が目立った。
- 253 銘柄が上昇、280 銘柄が下落、63 銘柄は変わらずと、指数は上昇したものの、銘柄数では下落した銘柄のほうが多くかった。
- 流動性は 5.3%増の 15.4 兆ドンとなり、昨日に引き続き回復した。

VN30 指数は引け間近に下落 (VN30 -0.12%)

- 大型株で構成される VN30 指数は 10 銘柄が上昇、17 銘柄が下落、3 銘柄が変わらずだった。
- 特に上昇の大きかった銘柄は TCB(+5.62%), MWG (+5.27%), VRE (+4.95%) など。
- 一方、SSB(-6.36%)は引け間近に大きな売り注文が入り、最も下落した。

セクター・個別株の動き

- VRE (+4.95%) は、不動産サービス大手 C&W の調査レポートが好感され上昇。ベトナム都市部にある多くのショッピングモールは改修工事によりテナント賃料と入居率が上昇した。

- SSB (-6.36%) は、最も ETF 再編の影響を受けた。PTF への出資をすべてイオンファイナンシャルサービスに移管することを発表した以降、好調に推移していたが、本日の引けに大口の売り注文が入り下落。
- 外国人投資家は 2,580 億ドルの買い越しとなりとなった。個別の銘柄では MWG(+5.27%)が多く買われた一方で、VND (-0.27%)が売られた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。